

青藍泰斗35年ぶりV



35年ぶり2度目の優勝を決め、歓喜する青藍泰斗ナイン=27日、エイジェックススタジアム

第107回全国高校野球選手権栃木大会最終日は27日、宇都宮市のエイジェックススタジアムで決勝が行われ、青藍泰斗が延長十回タイブレークの末、4-3で作新学院に競り勝ち、校名変更前の葛生時代以来35年ぶり2度目の優勝を飾った。決勝が延長タイブレークで決着するのは史上初。会場には6326人が詰めかけ、午前10時1分に試合開始。青藍泰斗は1点を追う八回、1死から敵失の走者を二塁に置き、佐川秀真が左越え適時二塁打で追い付いた。延長十回は1死二、三塁で上畠光雲、鈴木俊世の連打で2点を勝ち越した。投げては先発左腕永井竣也が完投。十回は無死満塁のピンチを最少失点に抑えた。



得点に沸く青藍泰斗応援団

全国高校野球 栃木大会決勝

延長十回タイブレーク
青藍永井・上畠(左)斎藤・大村
▽裏打 永井 佐川(青)

青藍泰斗		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
作新	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
青藍	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	4
3	4										

▽決勝(エイジェックス)

タイブレーク制す

4-3

打で出塁し、柳沼翔の適時内野安打などで逆転した。十回は無死満塁から打撃妨害で1点を返したが、後続が併殺に倒れるなど、あと一本が出なかった。全国高校野球選手権は8月5日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕。組み

金子裕佐野市長の話
夢舞台への出場権を勝ち取った青藍泰斗高校野球部の皆さん、おめでとうございませう。皆さんのプレーに、私たち佐野市民は、感動と勇気をもりました。皆さんが甲子園で活躍されることを期待しております。

青藍泰斗・青山尚緯監督の話
奇跡のようなものが積み重なって優勝できた。非常に期待されていた代で、苦しい部分もあったが、一生懸命やってきた結果。甲子園ではまず1勝を目指して頑張りたい。

合わせ抽選会は8月1日にオンラインで5日開会式直後の開幕試合の抽選を行った後、3日に本抽選を行う。

第107回全国高校野球栃木大会決勝の詳しい結果は、28日付の下野新聞をご覧ください。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

©下野新聞社2025

読者室 028-625-1179

(受付 月～金 午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120(購読)

事業局 028-625-1134(教育事業)

ビジネス局 028-625-1133(広告)

下野新聞社ホームページ

<https://www.shimotsuke.co.jp/>

号外

下野新聞1週間無料お試しキャンペーン実施中!
お申し込みは
0120-810081

